

研究ノート

幼稚園教育要領領域「健康」における指導案に関する研究

—運動遊びの部分指導案に基づく計量テキスト分析から—

新 本 惣 一 朗

A Study of Kindergarten Curriculum Guidelines in the “Health Area”:
From a Quantitative Text Analysis Based on the Partial Instruction Plan for Exercise Play

Soichiro NIMOTO

要 旨

本研究は、保育科の学生達の作成した指導案が、幼稚園教育要領領域「健康」のねらいや内容に沿っているのか、テキストマイニング法等を用い分析し検討することを目的とした。学生達が作成した82の指導案の中で指導の対象年齢をみると、5歳児対象が44（約54%）で1番多く、次に4歳児対象が27（約33%）と多かった。遊びの種類は、おに遊びが33と1番多く、2番目が16のボール遊びであり、おに遊びやボール遊び等が多い一方で、サーキット遊びやマット遊び等が少なく偏りがみられた。学生達が作成した運動遊びのねらいについてテキストマイニング法で分析した結果では、幼稚園教育要領に沿っているねらいが多くみられた。今後は、更に「健康」のねらいをしっかりと意識させ、遊びの種類に偏りが生じることなく様々な運動遊びの指導案作成と実施ができるように授業改善していきたい。

キーワード：幼稚園教育要領、健康、運動遊び

1. は じ め に

平成29年3月に告示され、平成30年4月より施行された幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の3つの柱と、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10の姿が示された。ねらい及び内容は、従前どおり健康・人間関係・

環境・言葉及び表現の5領域に分けられている。5領域の中の「健康」では、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うことをねらいとしている。そのねらいは更に3つに分けられ、3つに分けられた部分の（2）として、「自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする」がある。その内容には、（1）先生や友達と触れ合い、安定感を持って行動する、（2）自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする、（3）進んで戸外で遊ぶ、が挙げられている。学生達は、これらの内容について深く学び、ねらいを達成させるために健康の講義や幼児体育の演習の中で様々な運動遊びを体験したり、運動遊びに関する部分指導案を作成し、模擬授業を行ったりしている。

林（2018）は、「どんな保育者にとっても、何年経っても指導案作成は易しいものではない。まして、子どもの実態をほとんど知らない学生が指導案を作成することには、さらに難しさが伴うことは言うまでもない。」と述べ、室井・桐川（2018）は、現場に出る前の学生にとって「子どもの姿」や「保育の展開」を想起し記述することが困難であることを報告している。運動遊びについても、学生達が作成した指導案がどの程度幼稚園教育要領等のねらいや内容に沿っているのか、実態に合っているのか検証する意義は深いと考えられる。

本研究で学生達が作成した指導案について調査し分析することにより、学生達の「健康」や「運動遊び」のねらいに関する意識や明らかになると考えられ、今後の指導に生かされる。そこで、本研究は学生達が作成した指導案について調査し、テキストマイニング法等を用い分析し検討することを目的とした。

表1-1と表1-2は、学生達が作成した運動遊びの部分指導指導案のタイトル、遊びの種類、対象年齢及びねらいについてまとめたものである。表1の中で対

象年齢に対する指導案の数と比率については図2に抽出してまとめ、遊びの種類についても表2に抽出してまとめた。

表1-1 運動遊びの指導案のタイトル、遊びの種類、対象年齢及びねらいについて (1-40)。

	タイトル	遊びの種類	対象年齢	ね ら い
1	リスさんの引越し	ゲーム	4 歳児	ゲームのルールを理解をして友だちと遊ぶ。体を動かすことの楽しさを知る。動きやイメージを膨らませ表現して遊ぶことを楽しむ。
2	ドッジボール	ボール遊び	5 歳児	友だちとルールのある遊びを楽しむ。
3	フルーツバスケット	ゲーム	5 歳児	友だちや保育者と親しみ、一緒に活動する楽しさを味わう。リズムに合わせて体を動かし、ルールのある遊びを楽しむ。
4	木の中のリス	ゲーム	5 歳児	ゲームを通してクラスの友だちと触れ合う楽しさを味わう。ルールのある遊びを楽しむ。
5	オオカミいまんじ	ゲーム	5 歳児	保育者や友だちと関わる楽しさを感じながら体を動かす。ルールのある遊びの中で、自分たちで遊びを進めていくことを楽しむ。
6	新聞ボールリレー	ボール遊び	5 歳児	身近な素材を使って工夫して楽しく体を動かす。ルールのある遊びを楽しむ。
7	バナナ鬼	おに遊び	5 歳児	思い切り走るなどルールのある遊びに取り組みるようにする。友だちとコミュニケーションを取りながら協力する楽しさを味わう。
8	しっぽとり	おに遊び	5 歳児	友だちと遊ぶことを楽しむ。体を動かす遊びを楽しむ。
9	もうじゅう狩り	ゲーム	4 歳児	クラスの友だちと触れ合いながら遊ぶことを楽しむ。どんな動物が呼ばれるかわくわくしながらゲームに参加する。
10	田んぼ鬼	おに遊び	5 歳児	友だちと体をしっかり動かしながら、ルールのある遊びを楽しむ。
11	せんべい鬼	おに遊び	5 歳児	体いっぱい動かして遊ぶことを楽しむ。友だちを思いやる気持ちを持てるようにする。
12	しっぽとり	おに遊び	2 歳児	友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
13	転がしドッジ	ボール遊び	4 歳児	ボールに親しみ、転がして遊ぶことを楽しむ。ルールを理解しながら取り組む。
14	三色鬼ごっこ	おに遊び	5 歳児	どの色を追いかけると意識し追いかける。友だちと協力し助け合い鬼ごっこをする。走るにより体力や持久力をつける。
15	増え鬼	おに遊び	5 歳児	戸外で思い切り体を動かしてルールのある遊びを楽しむ。チームで協力する、ルールのある遊びを楽しむ。
16	コンセント鬼	おに遊び	5 歳児	コンセント鬼を楽しんで遊ぶ。友だちと協力して捕まえたり、逃げたりする。
17	ドッジボール	ボール遊び	5 歳児	ルールのある遊びを知り、楽しんで参加する。友だちと協力しながら遊びを楽しむ。
18	バナナ鬼	おに遊び	4 歳児	体をしっかり動かし、友だちと一緒にルールを守りながら遊びを楽しむ。
19	けいどろ	おに遊び	5 歳児	戸外で思い切り体を動かして、ルールのある遊びを楽しむ。どろぼう役とけいさつ役に分かれてチームで協力する。
20	島鬼	おに遊び	4 歳児	戸外で思い切り体を動かしてルールのある遊びを楽しむ。
21	転がしドッジ	ボール遊び	4 歳児	保育者と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。
22	しっぽとり	おに遊び	4 歳児	保育者や友だちと関わる楽しさを感じながら、十分に体を動かす。
23	増え鬼	おに遊び	5 歳児	広い範囲を十分に使って体を動かすと共に、ルールを意識しながら遊びを楽しむ。
24	アメリカンドッジ	ボール遊び	5 歳児	ルールを守ってアメリカンドッジに参加し、ボールを投げたり、逃げたりすることを楽しむ。
25	色鬼	おに遊び	3 歳児	保育者や友だちと一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。
26	人間オセロ	ゲーム	5 歳児	子ども達自身で考えてゲームを楽しむ。
27	フリスビードッジ	フリスビー	5 歳児	保育者や友だちと一緒にルールやフリスビーの使い方を知り、楽しむ。友だちと協力し合って楽しんで遊ぶ。
28	さめ鬼	おに遊び	3 歳児	さめ鬼を通して、友だちと一緒に体を動かすことを楽しむ。
29	ぐるぐるジャンケン	ジャンケン	5 歳児	同じチームの友だちと協力して遊ぶ楽しさを味わう。
30	しっぽとり	おに遊び	5 歳児	戸外で思い切り身体を動かして、友だちと一緒に遊びを楽しむ。ルールを確認して、意識しながら遊びに参加する。
31	転がしドッジ	ボール遊び	3 歳児	体を十分に動かしボール遊びの楽しさを味わう。友だちや保育者と一緒に遊びながら簡単なルールのある遊びを楽しむ。
32	新聞紙島	ジャンケン	5 歳児	ルールを守りながら運動することを楽しむ。うまくできるよう考えたり工夫したりする。
33	だるまさんが転んだ	ゲーム	4 歳児	友だちと一緒に体を動かして遊ぶ楽しさやルールのある遊びを楽しめるようにする。
34	引越し鬼	おに遊び	5 歳児	ルールを守って体を動かして友だちと遊ぶ楽しさを味わう。鬼がコロコロ変わること集中力や瞬発力、敏捷性を養う。
35	もうじゅう狩り	ゲーム	5 歳児	遊びの理解をして、友だちとの関わりを深めたり、一緒に体を動かしたりする。
36	しっぽとり	おに遊び	3 歳児	友だちや先生と一緒に新聞紙遊びを楽しむ。新聞紙に実際に触れながら、新聞紙の特性を知る。
37	カードめくり	ゲーム	5 歳児	同じチームの友だちと協力しあいルールを守ってゲームをする。
38	リレー	走る遊び	5 歳児	友だちと一緒に応援したり、励まし合ったりしながら走る楽しさを味わう。ルールを理解しルールを守って取り組む。
39	ドッジボール	ボール遊び	4 歳児	友だちと活動し、運動することの楽しさを感じる。
40	ドンジャンケン	ジャンケン	4 歳児	ジャンケンのルールを理解しそれに応じた反応を取る。指定されたコースを走り体やスピードのコントロールする力を身につける。

表1-2 運動遊びの指導案のタイトル、遊びの種類、対象年齢及びねらいについて (41-82).

41	進化ジャンケン	ジャンケン	4歳児	ルールを理解しながら遊ぶ楽しさを味わう。
42	言うことと一緒やることと逆	ゲーム	5歳児	先生の言葉を聞き、考えて動くことで集中力や敏捷性を養う。先生や友だちと一緒に身体を動かす楽しさを味わう。
43	色鬼	おに遊び	5歳児	様々な色を探し、身の回りにどのような色があるのを知る。誰も気づかなかった色を見つけた嬉しさを味わう。
44	しっぽとり	おに遊び	4歳児	保育者や友だちと一緒に身体を動かす楽しさを味わう。簡単なルールのある遊びを楽しむ。
45	転がしドッジ	ボール遊び	4歳児	体を十分に動かしボール遊びの楽しさを味わう。友だちや保育者と一緒に遊びながら簡単なルールの遊びを楽しむ。
46	バナナ鬼	おに遊び	5歳児	友だちと一緒に戸外で遊ぶ。バナナ鬼のルールを理解し、楽しんで鬼ごっこに参加する。
47	ゆうびんやさん	縄跳び遊び	5歳児	「ゆうびんやさん」の歌やリズムに合わせて長縄を跳ぶことを楽しむ。
48	転がしドッジ	ボール遊び	3歳児	保育者や友だちと一緒にボールを使う遊びを楽しみ、ボール遊びに興味を持つ。
49	しっぽとり	おに遊び	4歳児	戸外で体を動かすことの楽しさを感じる。クラスの友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。
50	もうじゅう狩り	ゲーム	5歳児	クラスの友だちと一緒にもうじゅう狩りを楽しむ。
51	おじゃまわしをとびこえろ	おに遊び	5歳児	戸外で遊ぶ心地よさや大勢の友だちと身体を動かし遊ぶ楽しさを味わう。かけ声をよく聞き鬼から素早く逃げることを楽しむ。
52	手つなぎ鬼	おに遊び	5歳児	ルールを守り、手をつないだ友だちと心を1つにして追いかけ、協調性を養い連帯感を味わう。
53	もうじゅう狩りに行くよ	マット遊び	4歳児	友だちや保育者と体を動かすことを楽しむ。自由にのびのび体を動かすことにより、柔軟性を養う。マット遊びを楽しむ。
54	手つなぎ鬼	おに遊び	4歳児	友だちと体をしっかり動かし戸外で遊ぶことを楽しむ。様々な鬼ごっこを知り、日々の保育でも取り入れようとする。
55	ドッジボール	ボール遊び	5歳児	友だちと協力しルールのある遊びを楽しむ。ボールを捕って投げる意識を持ち動きの面白さも感じられるようになる。
56	ハンカチ落とし	ゲーム	4歳児	ルールを理解し、みんなで一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
57	渦巻きジャンケン	ジャンケン	4歳児	先生や友だちと一緒に運動遊びを楽しむ。遊びのルールを知り、ルールを守って遊ぶ。
58	リレー	走る遊び	5歳児	リレーのやり方について理解する。バトンをつなげてゴールするためにチームで心をつなげる。
59	手つなぎ鬼	おに遊び	5歳児	ルールや約束を守り体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。友だちと心をつなげて追いかけることで協調性や連帯感を味わう。
60	転がしドッジ	ボール遊び	4歳児	体をしっかりと動かし考えながら動いて遊ぶことを楽しむ。ルールを守り友だちと協力しながら関わり合って遊ぶことの大切さや楽しさを味わう。
61	氷鬼	おに遊び	5歳児	一つの遊びを通して友だちとの関わりを楽しむ。ルールを守りながら遊ぶ楽しさを知る。遊びの中で社会性や協調性を養う。
62	新聞紙リレー	走る遊び	4歳児	身近な物で遊ぶ楽しさを知り、友だちと一緒に走る楽しさを味わう。
63	引越し鬼	おに遊び	3歳児	友だちと一緒にルールのある遊びを楽しむ。
64	フラフープリレー	ゲーム	4歳児	友だちと一緒に楽しむことができることを知る。同じチームの友だちと協力してフラフープを送ったり、跳んだりすることを楽しむ。
65	サーキット遊び	サーキット	3歳児	遊ぶ、バランスをとって歩く、ぶら下がるなど様々な動きを経験し、達成感を味わう。言葉遊びを楽しむ。
66	しっぽとり	おに遊び	3歳児	友だちと一緒にルールを守りながらしっぽとりを楽しむ。
67	からだジャンケン	ジャンケン	4歳児	全身を使って自分で考えた動きを表現することができる。ジャンケンのルールを再確認し、勝ち負けを楽しむ。
68	ボール運びリレー	走る遊び	5歳児	友だちと協力したり、仲間と応援したりすることを楽しみながらリレーをする。
69	新聞紙リレー	走る遊び	5歳児	新聞紙を使ったゲームを通して保育者や友だちとのコミュニケーションを楽しみ、ルールを守って遊ぶ。
70	島鬼	おに遊び	5歳児	島鬼のルールを理解して友だちや保育者と体を動かして遊ぶことを楽しむ。
71	できるかな体操	リズム体操	4歳児	友だちとリズムを感じ自分なりに体を使って表現することを楽しむ。動物の動きの模倣をする中で達成感を感じ想像を豊かにする。
72	しっぽとり	おに遊び	4歳児	クラスのみんなで楽しくしっぽとりをする中で、体を伸び伸びと動かす心地よさを味わう。
73	サッカーリレー	ボール遊び	4歳児	グループ活動を通して仲間意識を高めたり身体を動かすことの充実感を味わったりする。
74	新聞紙リレー	走る遊び	5歳児	新聞紙に楽しみながら身体を動かすことの楽しさを味わう。友だちが頑張っている姿を認め、応援しようとする気持ちを大切にする。
75	色鬼	おに遊び	5歳児	ルールを守って友だちと楽しく遊ぶ。色を素早く識別して動くことにより判断力や集中力を養う。
76	できるかな体操	リズム体操	2歳児	リズムに合わせて体を大きく動かすことを楽しむ。動物をイメージし、自分なりに表現し、なりきって遊ぶ楽しさを味わう。
77	動物まねっこげーむ	ゲーム	4歳児	動物になりきり、体を思い切り動かして遊ぶことを楽しむ。
78	転がしドッジ	ボール遊び	4歳児	ボールを使った遊びを楽しむ。簡単なルールを使った遊びを楽しむ。
79	しっぽとり	おに遊び	5歳児	友だちや保育者と身体を使って遊び、たくさんの友達と遊ぶ楽しさを知る。ルールのある遊びを楽しむ、守る大切さを知る。
80	転がしドッジ	ボール遊び	5歳児	集団でルールのある遊びをして友だちを応援したり勝敗を楽しむ気持ちを持つ。ボールを転がして狙いを定めたりボールをよけることで体を動かす。
81	フルーツバスケット	ゲーム	5歳児	フルーツバスケットをクラス全体で行ない考えたり動いたりする楽しさを味わう。
82	だるまさんがころんだ	ボール遊び	3歳児	インタビューをして友だちについて理解を深める。ゲームを通して様々なポーズをして体の動かし方やコントロールの仕方を身につける。

8

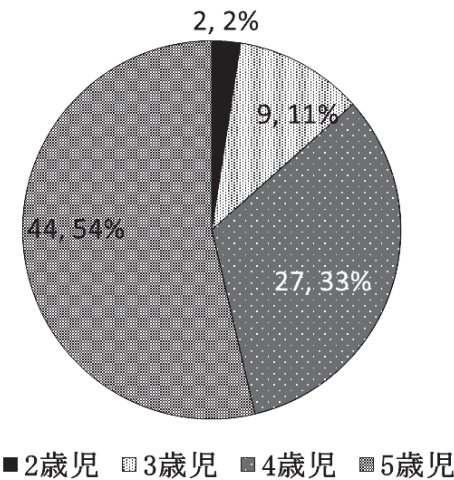
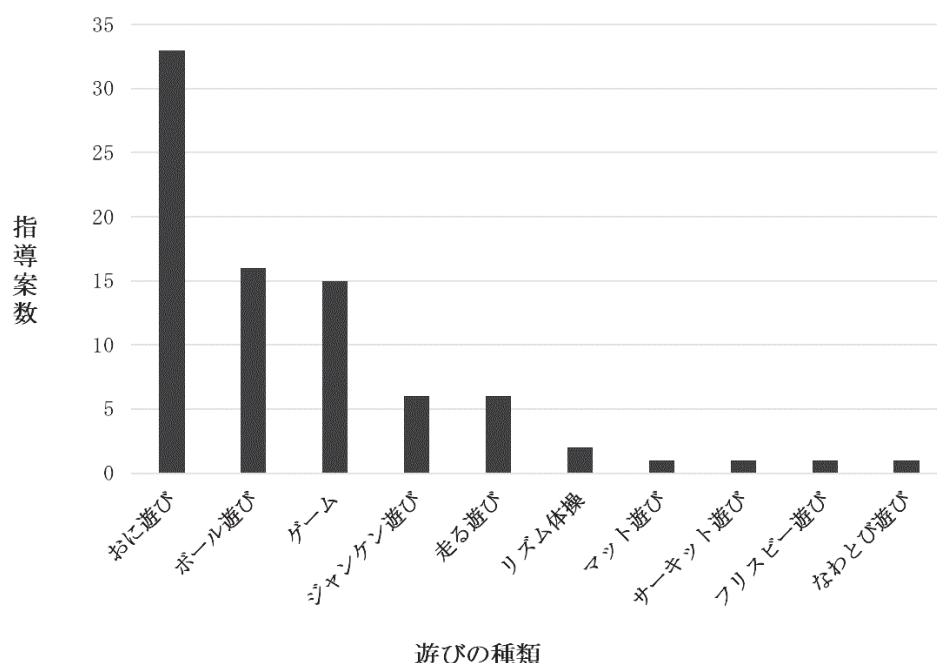


図2 指導案の対象年齢の数と比率.

表2 遊びの種類について。



作成した指導案の対象年齢をみると82の指導案の中で5歳児対象が44（約54％）で1番多く、次に4歳児対象が27（約33％）と多かった。3番目は3歳児対象の9（約11％）であった。一方、2歳児対象は2（約2％）しかなく、学生達にとって、年齢が高い学年の運動遊びの方がイメージしやすく、指導案が作成しやすいのではないかと推測された（図2）。

表2は、指導案の遊びの種類の数調べたものである。おに遊びが33と1番多く、2番目が16のボール遊びであった。3番目のゲームの数は15で、「フルーツバスケット」や「もうじゅう狩り」「リスさんの引っ越し」や、昔遊びの「だるまさんが転んだ」「ハンカチ落とし」等も含んでいた。ジャンケン遊びと走る遊びは共に6で、授業で取り扱ったリズム体操の「できるかな体操」も2ほどあった。その他、マット遊び、サーキット遊び、フリスビー遊び及びなわとび遊びはそれぞれ1であった。一番多かったおに遊びは、おにから逃げるために、思い切り走ったり向きを変えて走

ったり運動量が豊富で、走力や判断力が養われる。また、おに遊びの種類は、「しっぽとり」「島鬼」「バナナ鬼」「増え鬼」「色鬼」「手つなぎ鬼」「けいどろ」等豊富で、準備物や用意も少ないこと等もあり、学生達にも人気の運動遊びとなっている。次に多かった遊びの種類は、ボール遊びであった。ボール遊びの半数が「転がしドッジ」であり、転がしドッジボールはルールが簡単で3歳頃から行えるボール遊びであり、学生達にとって扱いやすい運動遊びであると推察された。その一方で、マット遊びやサーキット遊び、フリスビー遊び及びなわとび遊びは1ずつと少なかった。また、鉄棒遊びや平均台遊び、水遊び等は幼児体育の授業で取り扱っているにもかかわらず0であった。それらの遊びは、準備が大変であったり、学生達自体苦手な運動遊びであったり、季節に関するものであったりと、部分指導として取り扱いが難しかったことが推察された。

表3 運動遊びのねらいからの抽出語.

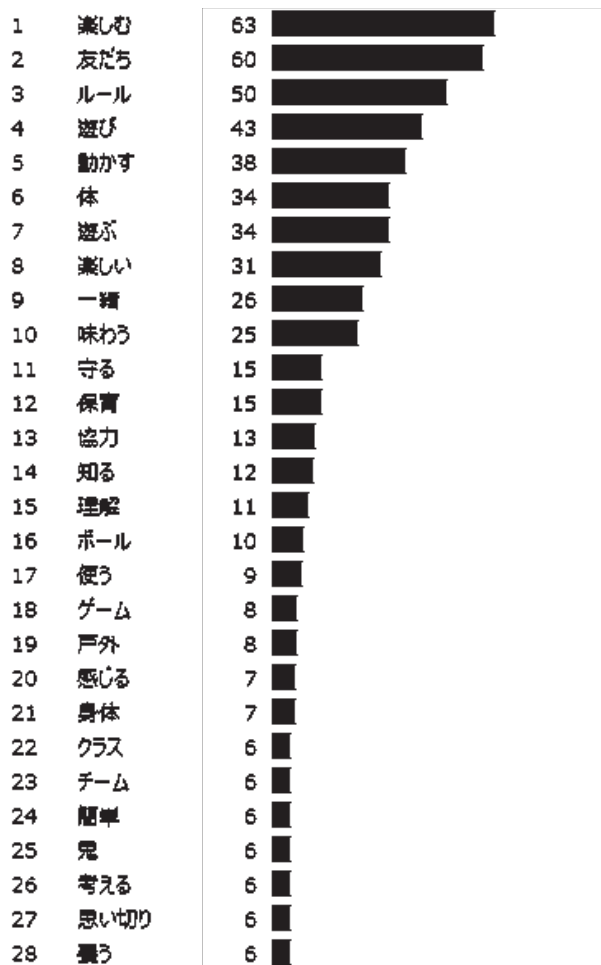


表3は、テキスト分析により抽出された131語の中で、6回以上出現した抽出語である。上位10位までの出現語によれば、「楽しむ」「動かす」「遊ぶ」「味わう」が動詞で、「友だち」「ルール」「あそび」「からだ」「一緒」が名詞であった。また、形容詞の「楽しい」が9位に現れていた。1位が「楽しむ」8位が「楽しい」で2位が「友だち」であるように学生達は、運動遊びを友だちと楽しむことをねらいの多く挙げていた。

運動遊びのねらい抽出語について共起ネットワークでみると、「友だち」を中心として「友だち」と「楽しむ」以外にも「ルール」や「遊ぶ」「動かす」

「一緒」等と共起しており、友だちと一緒に体を動かしたり友だちとルールを守って遊んだりすることが、ねらいとされている(図3)。それらは、幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領健康の自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする、のねらいに沿っていた。抽出語の中には、「戸外」(13位)や「先生」(32位)も現れており、健康の内容の(1)先生や友達と触れ合い、安定感を持って行動する(2)自分の体を十分に動かし、進んで運動しよう(3)進んで戸外で遊ぶに合致していた。

